



# 必読！基礎から学ぶ救急活動！！



酸素投与

必読！基礎から学ぶ救急活動！ 第2回目のテーマは「**酸素投与**」です。

酸素投与は低酸素血症を改善し、組織に十分な酸素を供給することを目的とします。強力かつ簡易で使用頻度も高い処置ですが、誤った方法では傷病者に悪影響を与えてしまいます。

酸素投与の適応、酸素投与器具の種類と吸入酸素流量を理解して、正しい方法と手順を身につけましょう。

※**低酸素血症**とは、動脈を流れる血液の中の**酸素**が不足している状態であることをいいます。この状態に陥ると、体全体に不調をきたし、手足の冷え、不整脈、呼吸の乱れに始まり、意識障害を起こして肝機能や腎機能にまでダメージを伴う事もあります。

## 酸素投与の適応

次の症状がみられる傷病者には速やかな酸素投与が必要です。

- |                   |                                |
|-------------------|--------------------------------|
| 1 ショック等で低酸素血症の傷病者 | 5 チアノーゼ。顔面蒼白の傷病者               |
| 2 喘鳴や努力性呼吸がみられる場合 | 6 SPO <sub>2</sub> 値が低下している傷病者 |
| 3 頻呼吸がみられる場合      | 7 意識障害(JCS30以上)の場合             |
| 4 重症外傷の傷病者        | 8 その他必要と判断した場合                 |

## 鼻カニューレ

軽症の低酸素症の傷病者。フェイスマスクの使用に不快を訴える傷病者に適応



長所	最も簡便で傷病者に苦痛や負担が少ない。
短所	十分な吸入酸素濃度が得られない。鼻閉や口呼吸をしている場合には期待した吸入酸素濃度が得られない。
注意点	高流量での使用は鼻腔の乾燥をきたす。

## 装着手順



①鼻孔部に装着部を設置する。



②ストラップを耳介にかける。



③顎の下でアダプターを調節する。